

C-感染症定期報告概要リスト

6月一覽

整理番号	受理日	番号	血対番号	感染症(PT)	出典	概要	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
	2004/06/18	40268	040106	クワイツフェルト・ヤコブ病	Biologicals, 2004; 32(1): 1-10	血漿製剤の製造工程において用いられるナノ濾過により、CJD感染因子(スクレイビー羊脳ホモジネート、精製されたスクレイビー因子)が除去できる。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
12	2004/07/13	40298	040124	クワイツフェルト・ヤコブ病	Biologicals, 2004; 32(1): 1-10 BLOOD TRANSFUSION INCIDENT INVOLVING vCJD, Department of Health (UK) 2003	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	クワイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	Pallフィルター・シリーズ(Pall Co.)はPrP ^{sc} を99%以上除去する。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	クワイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	羽毛分解酵素クラチナーゼPWD-1がプリオン分解能を有する。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
13	2004/07/26	40331	040137	クワイツフェルト・ヤコブ病	CDC Infectious Diseases Testimony, 2004.2.24	CWDと米国のvCJD患者との因果関係は認められなかったが、ヒトプリオンタンパク質がCWD関連プリオンによって病原性プリオンタンパク質に変換されたという研究報告もある。米国におけるCWDは現在は地域が限定されているが、汚染地域が広がることが懸念されている。	日本製薬株式会社	乾燥人血液凝固第Ⅷ因子複合体	血液凝固第Ⅷ因子複合体	人血液	日本	有効成分
14	2004/07/14	40297	040123	クワイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly 12/18, 2003; 13(51)	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。	株式会社第一ラジオアイントーブ研究所	テクネチウム大凝集人血清アルブミン	テクネチウム大凝集人血清アルブミン	ヒト血液	米国	有効成分
15	2004/07/13	40298	040124	クワイツフェルト・ヤコブ病	DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES FDA 79th Meeting of BLOOD PRODUCTS 2004/3/18	英国の事例について米国の専門家も輸血によりvCJDが伝播した可能性が高いと考えているが、現在の米国の供給量政策を変更する必要はないとしている。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
16	2004/06/29	40285	040121	クワイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health ホームページ Public Health Link 2003/12/17	輸血を受けた患者が死亡し、脳内にCJDの兆候が見られた。ドナーは献血時にvCJDは発症していなかったが、3年後にvCJDを発症し死亡。	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	①米国(ベネロン)、②日本(献血ベネロン-1)	有効成分
17	2004/06/29	40285	040121	クワイツフェルト・ヤコブ病	EMEA/CPMP/BWP/5 136/03; 11/20, 2003	EMEAのCPMPは、変異性クワイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)のリスクに関する血漿由来医薬品の製造工程の調査に関する審議文書を公表した。	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	①米国(ベネロン)、②日本(献血ベネロン-1)	有効成分
18	2004/07/13	40298	040124	クワイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 10(6), 2004	CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、6箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染源のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分

C-感染症定期報告概要Aリスト

6月一覽

整理番号	受理日	番号	血対番号	感染症(PT)	出典	概要	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
	2004/06/18	40268	040106	クロイツフェルト・ヤコブ病	EU Institution press releases, 2003 12 18	輸血を介してvCJDに感染した可能性がある患者が死亡したことをうけて、EU委員会は英国に本件に覆る詳細情報の提供を要求した。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
19	2004/07/13	40298	040124	クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	クロイツフェルト・ヤコブ病	MMWR, 2004; 52(53): 1280-1285	ウシ1頭が米国で初めてBSEとして確定されたことをうけて、米国及びカナダの農務省がウシの遡り調査を行っていること、FDAが感染のおそれのある製品の出荷後について調査中であること、また農務省が取った対策措置について。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
20	2004/06/29	40285	040121	クロイツフェルト・ヤコブ病	National Blood Service, 2004/03/16	vCJD伝播リスクの予防措置として、1980年以降英国で輸血経験のある人は、供血を禁止する。(2004/04/5から施行)	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	①米国(ベニロン)、②日本(献血ベニロン-I)	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature medicine, 2003; 9(12), 1442	日本及びイタリアで、それぞれ新規と思われるBSEに感染したウシが発見された。日本のウシは非常に若く症状も現れていなかったが、イタリアのウシは脳内アミロイドの蓄積に異常なパターンが見られた。両国の感染牛のプリオンが同一か、あるいは新しい病原体であるかは不明である。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
21	2004/06/29	40280	040119	クロイツフェルト・ヤコブ病	Proceedings of National Academy of Sciences of the USA, vol.101 no.9; 3065-3070, 2004	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrP ^{Sc} とは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadicCJDの所見と類似していた。	日本臓器製薬株式会社	アプロチニン液	ウシ肺	ウシ肺	ウルグアイ、アメリカ、ニュージーランド	有効成分
	2004/06/18	40268	040106	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20031227-0040, 2003.12.28	米国がBSEに感染したウシを食用にまわしたことについての、複数人による批判的投稿。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分
22	2004/07/26	40331	040137	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 411-412	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421と422-428の論文に対する、コメント。	日本製薬株式会社	乾燥人血液凝固第IX因子複合体	血液凝固第IX因子複合体	人血液	日本	有効成分
23	2004/06/29	40276	040115	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。	日本臓器製薬株式会社	血液凝固第XIII因子	ヒト血液	ヒト血液	英国	有効成分

C-感染症定期報告概要Aリスト

6月一覽

整理番号	受理日	番号	血対番号	感染症(PT)	出典	概要	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
24	2004/08/29	40285	040121	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 422-428	カニクイザルに、BSEに感染したカニクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPscの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	①米国(ベニコロン)、②日本(献血ベニコロン-I)	有効成分
	2004/06/17	40265	040105	クロイツフェルト・ヤコブ病	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349(19): 1812-20	スイスで1996年~2002年にCJDで死亡した36人の患者の神経系以外の組織を調査したところ、患者の約1/3から脾臓や骨格筋にPrPscを検出した。罹患期間が長いほど、神経系以外にPrPscが存在すると考えられる。	株式会社ベネシス	ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	人血液	米国	有効成分
13	2004/06/17	40265	040105	クロイツフェルト・ヤコブ病	Transcript, March 18, 2004, 151-161	15th TSE Advisory Committee Meeting 議事録より。輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、CDCはCJDサーベイランス対策を強化すべきである。また、カナダ産の米国乳牛のBSE診断例を受けて、農務省はBSE対策を強化すべきである。	株式会社ベネシス	ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	人血液	米国	有効成分
	2004/08/18	40267	040107	細菌感染	aaBB Weekly Report, 2004.2.13	血小板製剤中の最近汚染検出のためのガイダンスをaaBBが発行する(2004.03.01)。	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分
25	2004/07/13	40298	040124	重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004; 203: 622-630	SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
26	2004/07/13	40298	040124	重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004; 203: 631-637	SARSの機能的受容体として知られるACE2のmRNAはすべての臓器に存在するが、肺と腸に多く存在することが分かった。	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分
	2004/08/18	40288	040106	重症急性呼吸器症候群	Journal of Clinical Microbiology, Jan.2004, 347-350	SARS(コロナウイルス)のウイルス量はreal-timePCRにより、感染初期(1週間)の患者血液から測定できる。	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分